

令和5年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業



- リユース関連事業者や市民団体等と連携した先進的なリユース施策を実施しようとする地方公共団体を支援することを目的として、地域の実情に応じた創意工夫による使用済製品等の適正なリユースの推進に資する取組を広く募集し、実施に係る費用の支援及び技術的支援を行った。審査の結果、以下3件の事業を採択し、支援を行った。

地方公共団体名		事業名、実施概要
1	愛知県蒲郡市	高齢者の力でリユース推進！粗大ごみのネット販売によるサーキュラーエコノミーモデル化事業 市民から持ち込まれた粗大ごみを選別してリユース可能な商品として「メルカリShops」を利用して販売。地域の力を活用するため、出品作業をシルバー人材センターに委託。様々なケースで実証することで、粗大ごみを「メルカリShops」で販売する自治体モデル「がまごおりモデル」を構築した。
2	神奈川県座間市	あなたの街の思いやりリユースプロジェクト 地域共助プラットフォームアプリ「common」を活用し、まだ使える物品を譲りたい市民・譲り受けた市民のマッチングを実施した。市では同アプリを介して譲り渡し方法の調整を支援するほか、物品の置き渡しを行うためのロッカーの設置（市内4か所）、市内限定での物品の無料配送を実施した。
3	東京都八王子市	地域のデジタルプラットフォームを活用した不要品のリユース実証事業 株式会社ジモティーと連携し、市施設にてまだ使える不要品を市民から無料で引き取り、オンラインプラットフォーム「ジモティー」に掲載し、必要とされる方に現地で販売・譲渡する事業を実施。このほか、市が回収した粗大ごみ等のうち再利用可能な品物の一部についても同様に販売・譲渡した。

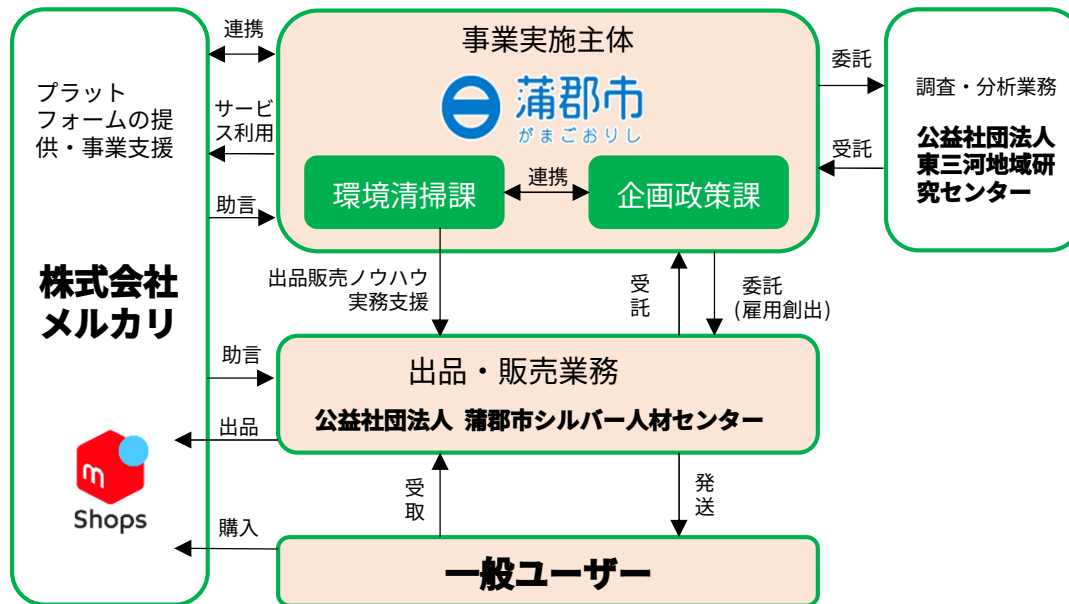
高齢者の力でリユース推進！

粗大ごみのネット販売によるサーキュラーエコノミーモデル化事業（愛知県蒲郡市）

- 市民から持ち込まれた粗大ごみを選別してリユース可能な商品として「メルカリShops」を利用して販売。地域の力を活用するため、出品作業をシルバー人材センターに委託。
- 様々なケースで実証することで、粗大ごみを「メルカリShops」で販売する自治体モデル「がまごおりモデル」を構築。
- 今後、「がまごおりモデル」を継続しながら、情報提供を通じて他自治体に同モデルを横展開予定。

事業の全体像

下記の企業や団体と連携し、粗大ごみの販売を実施



取組の様子



選別された粗大ごみ



出品作業の様子
（商品撮影）

取組の成果

- 実証実績（令和5年10月～令和5年12月）
 - 出品数：202品
 - 販売数：79品（郵送：48品、引渡し：31品）
 - 販売金額：188,170円
 - 販売重量（実測値）：172.6kg
 - CO2削減量：133.8kg-CO2

○横展開可能な自治体モデルの構築

あなたの街の思いやりリユースプロジェクト（神奈川県座間市）

- 地域共助プラットフォームアプリ「common」を活用し、まだ使える物品を譲りたい市民・譲り受けたい市民のマッチングを実施。同アプリを介して譲り渡し方法の調整を支援するほか、物品の置き渡しを行うためのロッカーの設置（市内4か所）、市内限定での物品の無料配送を実施
- 当面の間、本取組を継続予定。今後1年間を目途に、利用者のニーズ等を踏まえてその後の継続方針を検討する。

事業の全体像

以下の民間企業等と連携し、物品の譲り渡し支援を実施

- ①東急株式会社：アプリ「common」の運用管理、置き渡しロッカーの設置支援等
- ②小田急電鉄株式会社：本取組の広報、他の連携団体とのコーディネート等
- ③座間市リサイクル協同組合：不要となった物品（比較的大きな物品）の収集運搬



取組の様子



置き渡し用ロッカー
「common spot」



配送の様子
(粗大ごみ回収車)

取組の成果

- 事業期間中に多数のマッチングが成立（令和5年10月～令和6年2月）
- 譲渡出品数：317件、マッチング件数：175件
（マッチング成立のうち①手渡し 37件、②置き渡し 128件、③配送 10件）
- 受け渡し方法別の物品の傾向
 - ①手渡し：広範なサイズの物品（例：ベッド、カレンダー等）
 - ②置き渡し：サイズの制限（幅40cm×奥行35cm×高さ35cm）がある一方、利用率は高い（例：ヘアアイロン、バッグ等）
 - ③市による配送：比較的大型の品物が多い（例：机、椅子等）

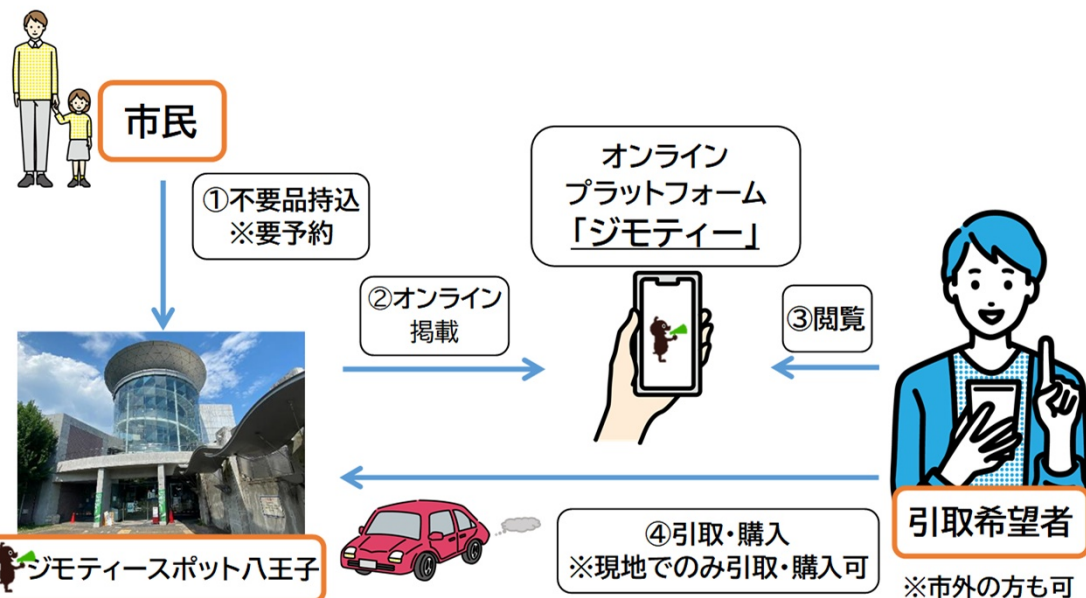
地域のデジタルプラットフォームを活用した不要品のリユース実証事業 (東京都八王子市)



- 株式会社ジモティーと連携し、市施設にてまだ使える不要品を市民から無料で引き取り、オンラインプラットフォーム「ジモティー」に掲載し、必要とされる方に現地で販売・譲渡する事業を実施。このほか、市が回収した粗大ごみ等のうち再利用可能な品物の一部についても同様に販売・譲渡した。
- 課題である採算性の向上の改善策を検討しながら、次年度も同様の取組を継続できるよう調整中。

事業の全体像

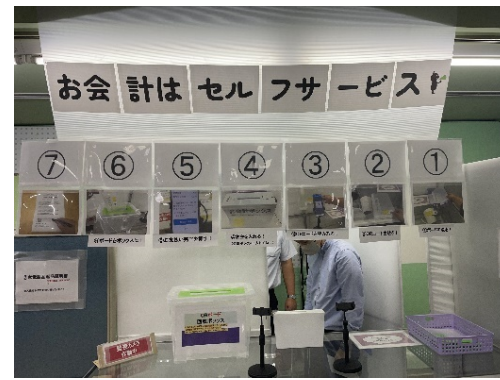
- ①市民がまだ使える不要品を持ち込む（要事前予約）
- ②持ち込まれた不要品をスタッフがジモティーに掲載する
- ③市民がジモティーのサイトにて掲載された商品を見つける
- ④市民が現地で引取・購入する（先着順）



取組の様子



店内の様子



省人化の取組
(セルフレジの導入)

取組の成果

【令和5年10月～令和6年2月末】

- ・総出品数：7,965品
- ・引渡し数：6,863品
- ・累計リユース率：94.5%
- ・リユース量：36,210kg（約36トン）

※累計リユース率は、10月～1月までに出品され、2月末までに引き渡したもののから算出

○取り扱った主な品目

家具、家電、子ども用品、楽器、スポーツ用品、アウトドア用品

○アンケート結果

- ・持込者の約7割がこれまでは「ごみとして廃棄」
- ・購入者の約6割はジモティーサイトを見て本事業を利用